

小学部 作品紹介
西森 隆斗 さん作
「みのむし」



鹿児島県立指宿養護学校だより

いぶよう

平成 27年 12月 24日 発行



小学部 作品紹介
外 薗 いちか さん作
「みのむし」



「あったか〜い」 未年から「行動する」 申年へ

教頭 坂元 純子

平成27年もあと少しで終わろうとしています。毎年二学期は行事の多い学期ですが、今年も多く行事があり、児童生徒の皆さんもですが、私たち教職員も多くのことを学んだ学期でした。9月の宿泊学習や高等部の修学旅行に始まり、10月の介護等体験、高等部後期産業現場等における実習、小・中学部の居住地校交流学习、県特研指宿大会、11月の学習発表会、今月は消防署とのもちつき交流など。どの行事も、いろいろな方々の協力を得て実施できており、地域や関係する方々が、いろいろな方法で支援して下さることが、子どもたちの成長につながっていることに感謝しています。また、外部の方々との学習を経験する中で、私たちの考えた配慮が、時として子どもたちの「自立の芽」をつんでいるかもしれないと気づかされる時もあり、支援についても考えさせられるよい機会にもなっています。

子どもたちの貴重なかけがえのない時間。その時々で、子どもたちのがんばっている姿や喜んでいる姿を見ることができ「あったか〜い」気持ちにさせられます。これからも、関係する方々と一緒に、子どもたちの健やかな成長を見守っていきたいです。

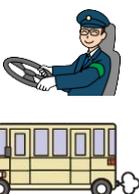
今年もおやじの会で作ってくださった門松がすでに玄関前に飾られ、新年を迎える準備ができています。来年は申年。4月からは「障害者差別解消法」も施行されます。児童生徒、保護者、教職員一緒に合理的配慮について学習しあい、意見交換をして共に成長できるようにしたいものです。

干支の猿のように、元気でおおいに活躍できる年であることを願って・・・。



バスの運転手さん ありがとうの会

11月2日（月）に運転手さんありがとうの会が行われ、毎日安全に子どもたちを送迎して下さっているバスの運転手さん（頼娃線：岩下さん、喜入線：豊崎さん）に感謝の気持ちを伝えました。子どもたち一人一人が、感謝の気持ちを込めてメッセージカードを書き、それを執行部の児童生徒が寄せ書きにして、プレゼントとして渡しました。寄せ書きには、「バス大好き」「いつも安全運転ありがとうございます」等、普段はなかなか言葉にできない感謝の気持ちがメッセージとして書かれていました。



給食感謝会

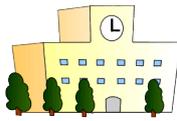
11月30日（月）に、給食感謝会を行いました。

給食委員会の児童生徒が、委員会の時間に会の準備をしたり、当日の会の進行をしたりしました。児童生徒全員が分担して、学校給食物資納入業者（8社）と調理員さん、栄養教諭の永野先生へ手作りのメッセージカードを作成しました。当日は、調理員さん6人と永野先生と一緒に楽しく給食を食べたり、カードをプレゼントしたりして感謝の気持ちを伝えることができました。



柳田小学校との交流学習

10月22日木曜日、柳田小学校4年生54名と本校小学部児童18名との交流学習がありました。柳田小学校とは初めての交流学習で、4年生のお友達が「つながりあう わたしたち」の学習の中での体験活動として、自分たちなりに計画・準備して取り組んでくれました。本校児童1名と3名のお友達がグループになって、それぞれ準備してきた遊びを一緒に仲よく楽しんでいました。あちこちでたくさんの笑顔が見られ、「まだ遊びたい」との声も聞かれる中、握手してお別れしました。



指商デパート

11月1日(日)に指宿商業高等学校で行われた「指商デパート」に高等部生有志が参加し、高等部作業学習(手工芸班、窯業班)の製品を販売しました。多くのお客様がコップや皿、ビーズアクセサリーなどの製品を見に来てくださいました。慣れない場所での活動に緊張していた生徒も、励ましやねぎらいの言葉を掛けていただき、途中からは笑顔で元気よく呼び込みを行いました。



学習発表会

11月21日(土)に第41回学習発表会を行いました。児童生徒は、練習や本番を通して、大勢の観客の前で表現する緊張感や、友だちと協力して演目を創りあげる一体感を味わい、日頃の学習の成果を十分に発揮することができました。今回は、国文祭が鹿児島で開催されることもあって、全校生徒職員でテーマソングの「タイムカプセル」を歌ったり踊ったりしました。また、午後は中学部・高等部の作業学習の製品・販売「いぶようのぞみ市場」と「PTAバザー」を行い、地域の皆様や保護者などたくさんのお客さんに御来場いただき、大盛況のうちに終了しました。



こ34ん



高等部 後期産業現場等における実習

10月13日(月)~23日(金)8日間、高等部生徒(全学年)が実習に取り組みました。一人ひとりの進路希望や既習経験、目標等を踏まえ、鹿児島市、指宿市、南九州市の5企業、9福祉サービス事業所で受入の御協力をいただきました。実際の仕事はもとより、通勤、職場でのコミュニケーション、2週間通して働く体力や根気など、社会自立・参加に向けた今後の取組につながる貴重な機会になりました。



「応援ありがとうございます」

山川成川在住の方が、ご家庭でだるまの貯金箱に貯めたお金を、子ども達へのプレゼントにとご持参くださいました。今回で50個目でした。長年続く応援に感謝いたします。

